

はじめに 《施工後は当社では責任を負いかねます。》
 ※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。
 運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。
 ※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。

施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工して下さい。施工後はお客様にお渡し下さい。

○この商品は屋内用ですので、屋外や水がかかる所には使用しないで下さい。
 ○高温、高湿の環境条件では使用できません。扉の反り、変色などの原因になります。
 ○枠は水平、垂直に取付けし、ねじれがないかを必ずご確認ください。扉の開閉に支障となる原因になります。
 ○扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

安全についてのご注意。くケガや事故を未然に防止する為以下の事項を必ずお守り下さい。>

○運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、二人以上で作業を行って下さい。
 また、接着剤を使用する場合は十分な換気を心がけてください。
 ○材料の加工・切断時は周囲の安全を十分注意し、化粧シート面側からノコギリを入れて下さい。
 裏面から行いますと、化粧シートハガレの原因になります。
 ○引渡し前に工事管理者が不具合などないかを必ず点検を行い、不具合が見つかった場合はその箇所を補修して下さい。

マークの見方

❗ この表示は「必ず実施して頂く」指示内容です。

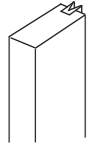
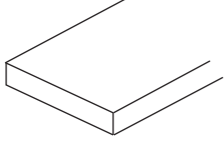
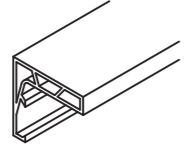
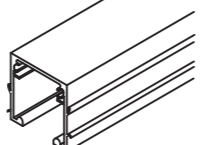
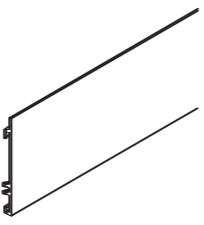
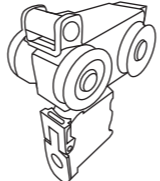
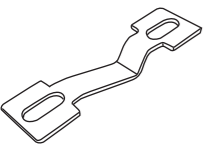




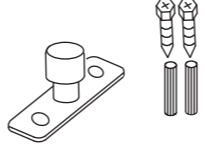

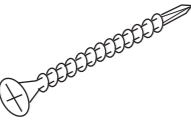
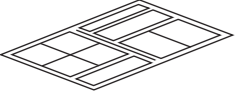
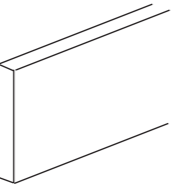
🚫 この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。

⚠ この表示は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害損害の程度です。」

施工前の確認

○この商品は「アウトセット「上吊り引き分け戸」を用途とする商品です。他の用途として使用したり、施工説明書と異なった施工をした場合のクレームは当社では責任を負いかねます。
 ○施工時に電動ドライバーを使用する場合はネジ頭の破損を防ぐためトルクの調整をしてください。
 ○部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け十分な養生をしてください。
 ○開口部の寸法を計り、枠が正確に施工されているかご用意のサイズが適切かご確認ください。

(組立て前に必ずご確認ください)
 梱包内容の確認

片枠  × 2	上枠  × 1	レールベース  × 2	上レール (ソフトクローズ内蔵)  × 2	幕板  × 2	戸尻ライナー (上下前後調整付吊車)  × 2
キャッチ受け  × 2	小口キャップ  L・R 各1	枠組立て 取付けビス  × 12	ビス隠しキャップ  × 12	ログナット  × 4	上吊下部調整ガイド (ビス付き)  × 2
アウトセット床戸当り (ビス付き)  × 2	レール取り付けビス 4.0×50  × 20	施工説明書  × 1	パッキン  × 1		

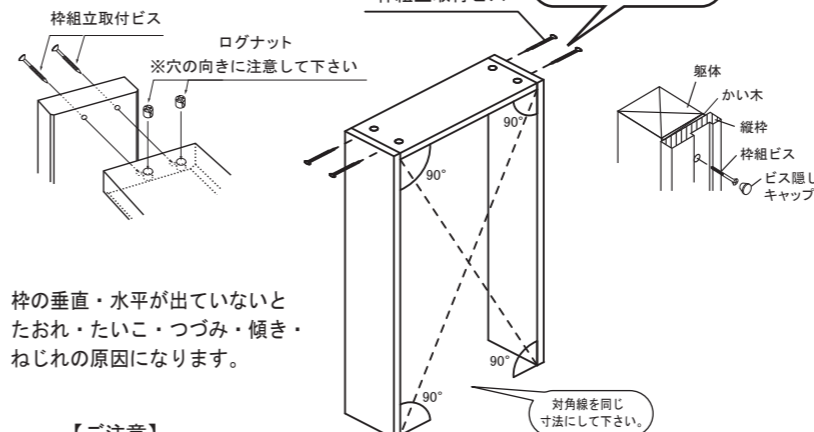
◆施工後の処置◆

○施工後は傷がつかないように養生して下さい。
 養生テープを表面に直接貼らないで下さい。
 ○清掃は柔らかい布に薄めの中性洗剤をつけ、かたくしぼって拭いてください。
 ○内装工事が終わるまでの間、引き戸を外して保管されることをお勧めします。

1 枠の組み立て

縦枠と上枠を、枠組立取付けビスで組付けて下さい
 枠の水平・垂直・ねじれの確認をして下さい。

縦枠と鴨居の固定は下図の要領にて固定して下さい。



枠の垂直・水平が出ていないとたおれ・たいこ・つぶみ・傾き・ねじれの原因になります。

【ご注意】
 ❗ 枠の垂直・水平を、下げ振り・水準器でよく確認して下さい。

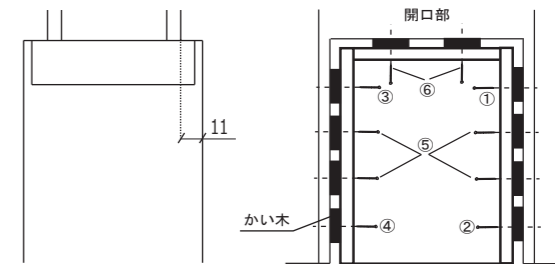
※枠の水平、垂直が出ていないことが原因による不具合は、クレームとしてお受けすることができませんのでご注意ください

2 枠の取り付け

枠の水平垂直、ねじれに注意して枠組立取付けビスで躯体に固定します。

1. 枠を開口部に組み込み①～④の順に枠組立取付けビスで仮固定して下さい。
2. 枠の左右調整をして下さい。
3. 枠組ビスで躯体に固定し、セットキャップをはめ込みます。

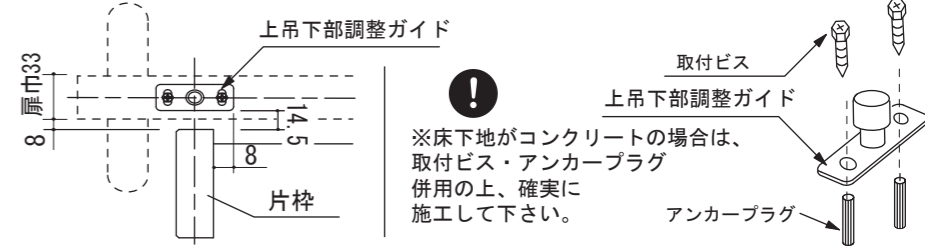
※壁と枠の間に隙間ができたり、ぐらつく場合は右図のように壁と枠の間にかい木を入れて下さい。
 ※レールが付く方の壁と縦枠とのチリを11mmにしてください。



3 上吊下部調整ガイドの取り付け

※施工は必ず専門の施工業者が行って下さい。

上吊下部調整ガイドを付属のビスで右図の位置に取り付けて下さい。
 垂直に戸が吊り込めるよう取り付け位置に注意してください。



4 レールの取付け

レールベースの取付け

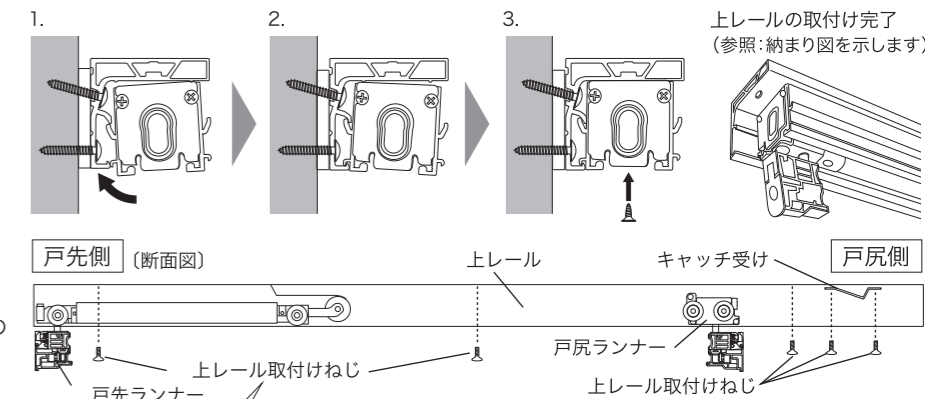
レールベースの取付け位置を決め、レールベース取付けねじで壁面に留めます。(ねじの本数はレールの長さによって余る場合があります。)パッキンを壁とガイドレールの間に挟み固定してください。

⚠ **注意:** ●レールベースの取付け面には、必ずねじの利く下地が必要です。
 ●戸の吊込み前に、戸先ランナーを1,200mm以上動かささないでください。パネが破損する原因になります。

⚠ **注意:** ●レールベースは必ず水平に、すべての取付け孔を使ってねじ留めしてください。
 ●ねじ頭が浮くと上レールが当って取り付けられない場合があります。ねじ留めの角度に注意してください。(右図参照)
 ●下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。

上レールとキャッチ受けの取付け

1. 上レールの爪をレールベースの爪に引っ掛けます。
2. 図のような状態で上レールが仮保持され、手を離しても落ちないことを確認します。
3. レールベースと上レールのねじ孔位置を合わせ、上レール取付けねじで固定します。(ねじの本数はレールの長さによって余る場合があります。)
4. キャッチ受けを、レールの戸尻側に上レール取付けねじでレールベースへ上レールと共に締めつけます。
5. 戸の吊込みまでの間に上レール内部へゴミ・埃が入るのを防ぐため、再度レール底面に養生テープを貼ります。



⚠ **注意:** すべての取付け孔を使ってねじ留めしてください。

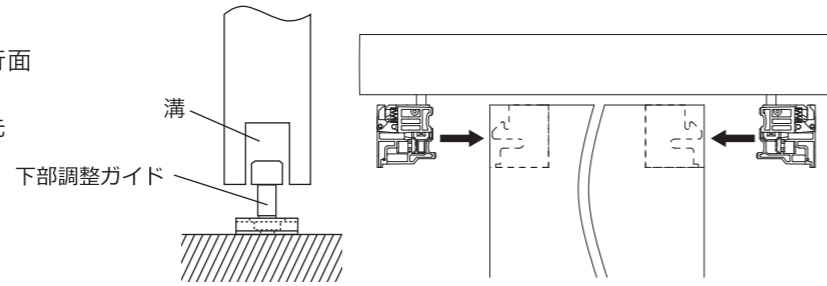
⚠ **注意:** 「キャッチ受け」の向きを間違えると、戸の全開時にキャッチ機能がはたらきません。



※レール同士の隙間をできるだけ小さくして下さい。

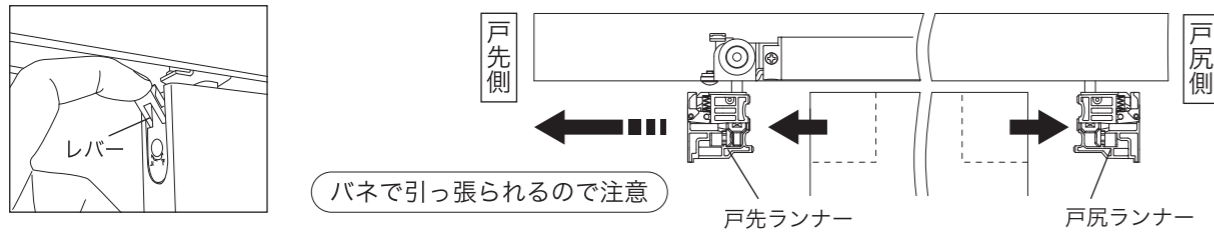
5 戸の吊込み

1. 上レール内部の清掃を行います。(ランナー走行面の拭き取り、エアブローでの埃除去。)
2. 戸の底面の溝に下部調整ガイドを通してから、戸先ランナーと戸尻ランナーをホルダーにカチッと音が鳴るまではめ込みます。



戸の取外し ①戸先ランナー・②戸尻ランナーのレバーを起こして引き出します。

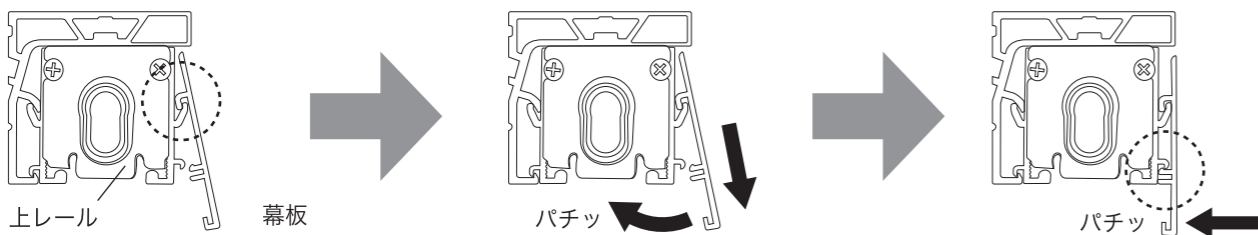
- ⚠ 注意:** 戸先ランナーを引き出す際は必ず手を添えてください。引き出すと同時にバネで引っ張られますので、扉と衝突して破損する恐れがあります。



6 幕板の取付け

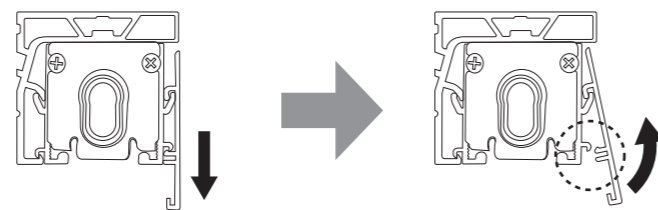
1. 幕板の裏面上側にある爪を、上レールの爪に引掛けます。
2. 幕板を下向きに引いて仮保持状態が確認できたら、下側をパチッと音が鳴るまで押し込みます。
3. 幕板の下側をレールの端から端まで押し込み、浮いている箇所がないことを確認します。

1. 爪どうしを引っ掛ける
2. 下側を押し込む
3. レールの端から端まで押し込む



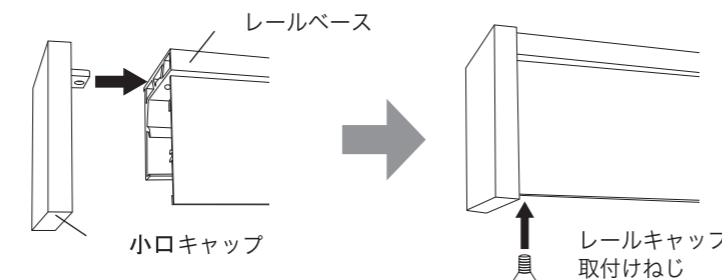
幕板の取外し

幕板の下側をつまんで、強めに下向きに引っ張りながら手前へ起こすと外れます。



7 小口キャップの取付け

小口キャップを図のようにレールベースへ差込んで、レールキャップ取付けねじで下から固定します。



- ⚠ 注意:** ねじは廻しすぎないでください。キャップの孔が破損する場合があります。

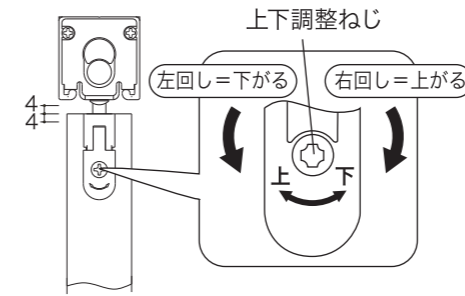
⚠ 注意: 施工完了後、必ず床戸当りを設置してください。

8 各種調整

戸の上下調整

上下それぞれ4mmの調整が可能です。

戸先ランナー・戸尻ランナーの“上下調整ねじ”を回して調整します。



※出荷状態はレールと戸の隙間が7mmになる設定です。

⚠ 注意: 電動ドライバーは使用しないでください

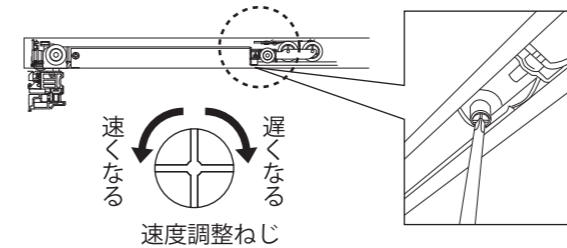
ブレーキ力の調整

ブレーキ作動区間で戸が閉まる速さを調整できます。

戸先ランナーを外し、ブレーキシリンダーに付いている“速度調整ねじ”を回して調整します。

※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)
右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)

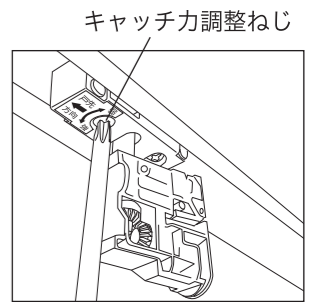
⚠ 注意: 電動ドライバーは使用しないでください



キャッチ力の調整

戸尻ランナーを外し、ランナーの下面にある“キャッチ力調整ねじ”を回して調整します。

※左回し:キャッチ力が強くなる
右回し:キャッチ力が弱くなる



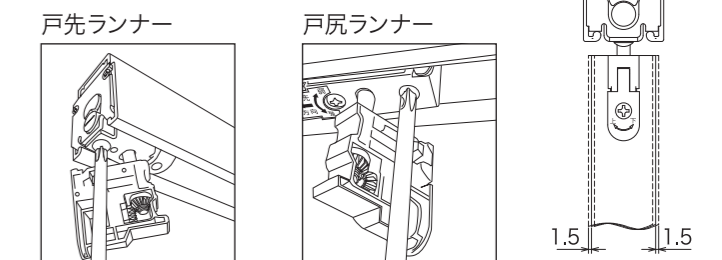
⚠ 注意: 電動ドライバーは使用しないでください

戸の前後(奥行き)調整

前後それぞれ1.5mmの調整が可能です

1. 戸先ランナー・戸尻ランナーを外して下面にある“前後調整ねじ”を緩めます。
2. 戸の前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら、“前後調整ねじ”を締め込みます。

⚠ 注意: 電動ドライバーは使用しないでください



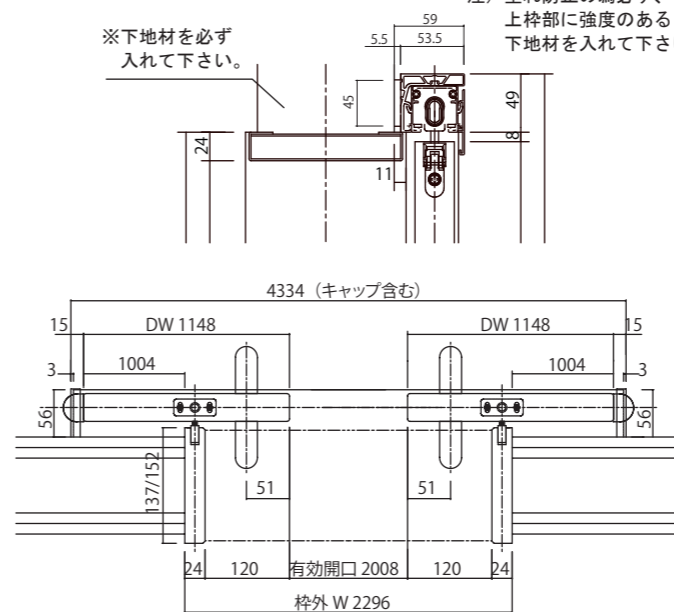
■ 寸法図

固定枠タイプ

アウトセットタイプ
上吊り引き分け戸 (自閉式)

枠見込み137/152mm 有効開口2,008mm

※下地材を必ず入れて下さい。



■ 寸法図

ケーシング枠タイプ

アウトセットタイプ
上吊り引き分け戸 (自閉式)

対応壁厚126~158mm 有効開口2,008mm

※下地材を必ず入れて下さい。

